



Red Hat AMQ 2021.Q2

コンソールを使用した AMQ Interconnect サイト のモニタリング

AMQ Interconnect 2.0 テクノロジープレビューでの使用

Red Hat AMQ 2021.Q2 コンソールを使用した AMQ Interconnect サイトの モニタリング

AMQ Interconnect 2.0 テクノロジープレビューでの使用

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

法律上の通知

Copyright © 2021 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Monitoring_AMQ_Interconnect_sites_using_the_console.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本ガイドでは、AMQ Interconnect サイトおよびサービスネットワークを監視する方法について説明します。

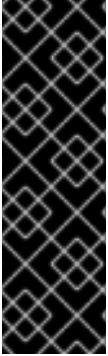
目次

| | |
|--|---|
| 前書き | 3 |
| 第1章 コンソールを使用した AMQ INTERCONNECT サイトのモニタリング | 4 |
| 1.1. SKUPPER コンソールへのアクセス | 4 |
| 1.2. SKUPPER コンソールの確認 | 5 |

前書き

多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。これは大規模な取り組みであるため、これらの変更は今後の複数のリリースで段階的に実施されます。詳細は、[Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ](#)をご覧ください。



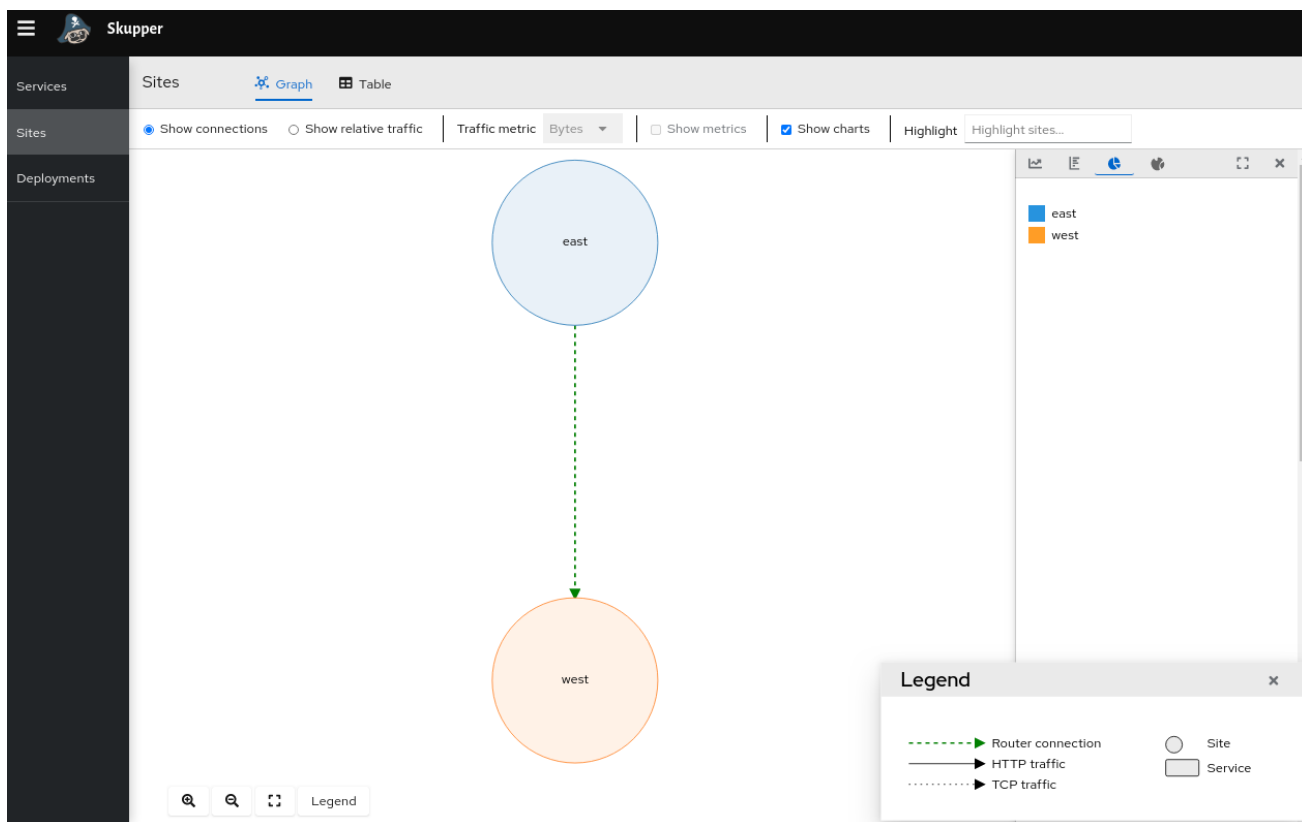
重要

AMQ Interconnect 2.0 テクノロジープレビューの機能は、Red Hat の本番環境のサービスレベルアグリーメント (SLA) ではサポートされず、機能的に完全ではないことがあります。Red Hat では、これらについて実稼働環境での使用を推奨していません。

テクノロジープレビューの機能は、最新の技術をいち早く提供して、開発段階で機能のテストやフィードバックの収集を可能にするために提供されます。Red Hat のテクノロジープレビュー機能のサポート範囲に関する詳細は、<https://access.redhat.com/ja/support/offerings/techpreview> を参照してください。

第1章 コンソールを使用した AMQ INTERCONNECT サイトのモニタリング

Skupper コンソールは、サイト間のトラフィックレベルなど、サービスネットワークに関する有用な情報を提供します。



1.1. SKUPPER コンソールへのアクセス

デフォルトでは、Skupper コンソールは、サービスネットワークルーターを作成するたびに使用可能で、**skupper-console-users** シークレットで利用可能な認証情報で保護されます。

手順

1. **skupper** CLI を使用して Skupper コンソール URL を決定します。以下に例を示します。

```
$ skupper status
Skupper is enabled for namespace "west" in interior mode. It is not connected to any other sites. It has no exposed services.
The site console url is: https://skupper-west.apps-crc.testing
```

2. Skupper コンソール URL を参照します。認証情報のプロンプトは、サイトが **skupper init** を使用してどのように作成されたかによって異なります。
 - **--console-auth unsecured** オプションを使用すると、認証情報の入力を要求されません。
 - **--console-auth openshift** オプションを使用すると、OpenShift クラスターの認証情報を入力するように求められます。
 - デフォルトまたは **--console-user <user> --console-password <password>** オプションを使用すると、AMQ Interconnect の認証情報を入力するように求められます。

3. デフォルト設定 **skupper init** を使用してサイトを作成した場合には、**admin** ユーザー用にランダムなパスワードが生成されます。パスワードを取得するには、以下を実行します。
 - a. **admin** ユーザーのエンコードされたパスワードを取得します。

```
$ oc get secret skupper-console-users -o yaml | grep admin
admin: Sk5aV3pNSHR5Zw==
```

- b. **admin** ユーザーのパスワードをデコードします。

```
$ echo -n "Sk5aV3pNSHR5Zw==" | base64 --decode
JNZWzMHtyg
```

1.2. SKUPPER コンソールの確認

Skupper コンソールは、以下の概要を表示します。

- サービス: サービスネットワーク上で公開されるサービス (ローカルおよびリモートの両方)
- サイト: 現在のサービスネットワーク上の AMQ Interconnect インストール
- デプロイメント: 公開されるサービスに関連するデプロイメント
 1. [OpenShift チュートリアルを使用してサービスネットワークを作成する](#)。
 2. Skupper コンソールに移動します。
 3. **Sites** メニューアイテムをクリックします。 **east** サイトおよび **west** サイトはどちらも、丸で表示されているはずですが。
 4. **west** の丸を、**east** の丸の左側にドラッグアンドドロップします。
 5. **Table** タブをクリックして、サイトをテキスト項目として表示します。このビューでは、選択したサイトに関連する詳細にドリルダウンすることができます。
 6. **Deployments** メニュー項目をクリックします。このビューでは、サービスネットワーク上のサービスとして公開されるすべてのデプロイメントが表示されます。この場合、コンソールには **hello-world-backend(east)** デプロイメントが表示されます。
 7. **Services** メニュー項目をクリックして、サービスネットワーク上で公開されるすべてのサービスの詳細を表示します。



注記

2つのサービスがチュートリアルには含まれていますが、1つのサービス (**hello-world-backend**) のみがサービスネットワーク上で公開されます。

8. **Sites** メニューを再度クリックし、コンソールの右側にあるパネルを展開します。このパネルには、バックエンドからフロントエンドへのトラフィックフローが表示されます。

改訂日時 : 2021-08-27 00:36:20 +1000

